

# 平成 29 年度北海道立生涯学習推進センター研修事業 生涯学習推進専門講座事業報告

## I 事業の概要

研修テーマ 地域課題と向き合う事業の設計

- 1 趣 旨 人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備としての計画策定・評価及び事業企画に関する専門的な知識や技術などについて理解を深める。
- 2 主 催 北海道立生涯学習推進センター
- 4 期 日 平成 29 年 11 月 9 日（木）～10 日（金）
- 5 会 場 かでる 2・7 8 階 820 研修室
- 6 参加対象 市町村・市町村教育委員会職員、  
各種審議会委員（社会教育委員、生涯学習審議会委員等）、  
生涯学習関連施設職員、社会教育関係団体職員、  
民間団体（NPO、ボランティア、企業等）関係者 等
- 7 参加状況 39 名（社会教育関係職員 25 名、社会教育関係職員以外 14 名）
- 8 日 程

11/9 (木)	9:30 受付	10:00 開会	10:15 (1) 基調講義	11:45 昼食 休憩	13:00 (2) ワークショップ① ビジョン・目標等の検討	17:00
11/10 (金)	9:30 (2) ワークショップ② バランス・スコアカードの作成			11:45 昼食 休憩	13:00 (2) ワークショップ③ 発表・講評	14:30 閉会



## 9 活動の概要

### (1) 基調講義 地域課題と向き合う事業の設計～その意義と企画・立案に求められる視点～

【講師】 栃木県教育委員会事務局生涯学習課課長補佐

国立教育政策研究所フェロー

井上 昌幸 氏

【内容】 「地域課題をいかに施策化・事業化していくか」 行政職員としての課題設定の仕方、地域住民との合意形成、施策化の流れ等についてお話しいただいた。



### (2) ワークショップ①②③ 未来指向型の事業設計～戦略マップの作成

【進行】 北海道立生涯学習推進センター職員

【内容】 ありたい姿（ビジョン）の検討、それを実現するため地域住民や行政の視点でどのようなになっていくべきかという戦略の立案を経て、その成功要因や目標を設定しバランス・スコアカードを完成させるまでの過程をグループごとに取り組んだ。



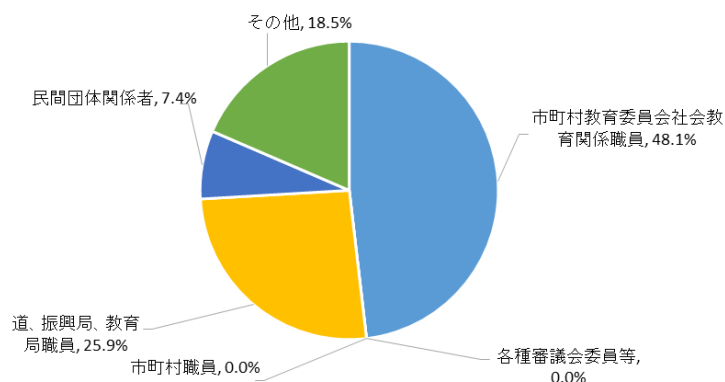
## II 事業の満足度

### 1 本講座参加者数 39名

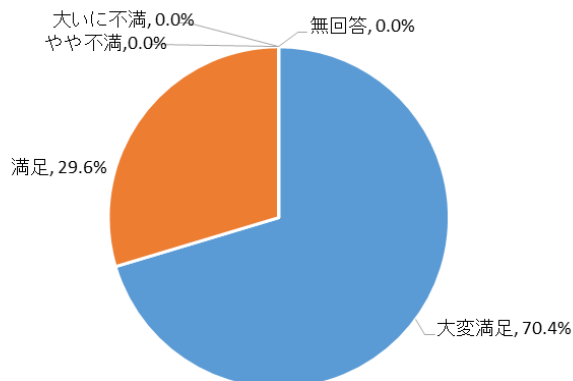
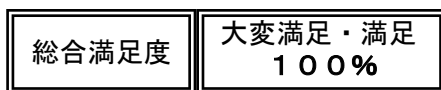
(内訳) 社会教育関係職員の参加者数 25名 (64.1%)  
社会教育関係職員以外の参加者数 14名 (35.9%)

### 2 アンケート対象者数 39名 回答者数 27 (回収率 69.2%)

参加者(所属)状況

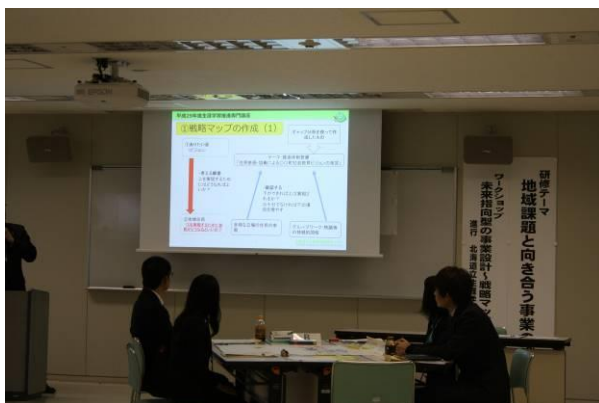


### 3 講座全体をとおして



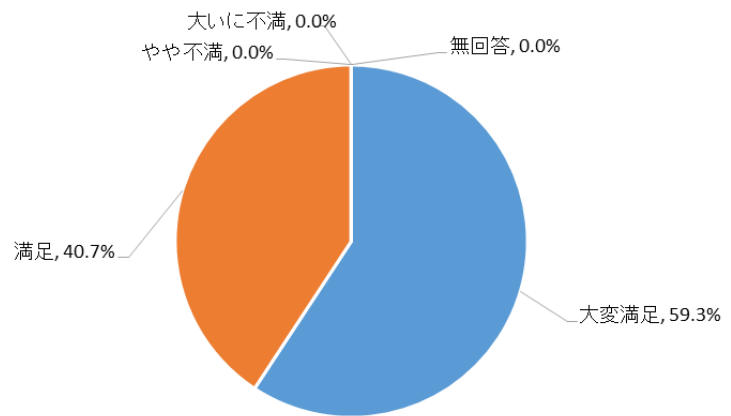
#### 【参加者の主な声】

- 時代の要請はあるもののなかなか手をつけられないでいる課題だったため。
- 戦略マップ、スコアカードという新しい手法を学べて良かった。
- バランス・スコアカードを作成する中で様々な意見が聞けて勉強になった。



#### 4 研修プログラムの内容について

##### (1) 基調講義「地域課題と向き合う事業の設計～その意義と企画・立案に求められる視点～」

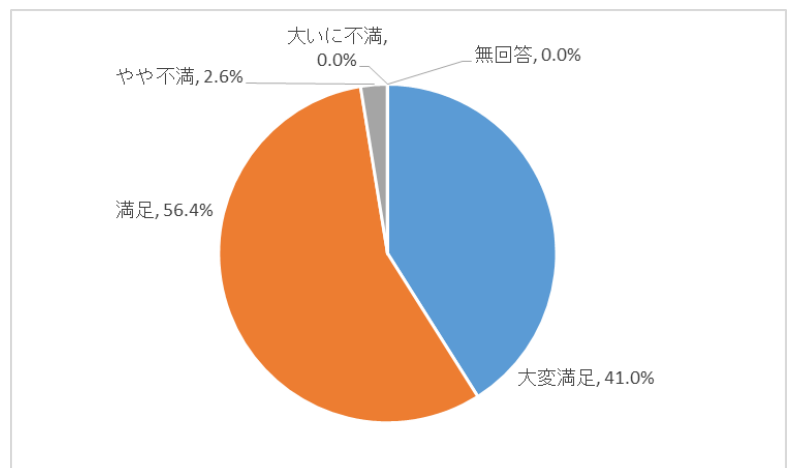


##### 【参加者の主な声】

- 地域課題のための計画づくりや社会教育委員の役割について改めて学ぶことができた。
- 他県の現状も詳しく説明していただいて良かった。
- お話を伺い、行政職員として何をすべきか明確に見えた。



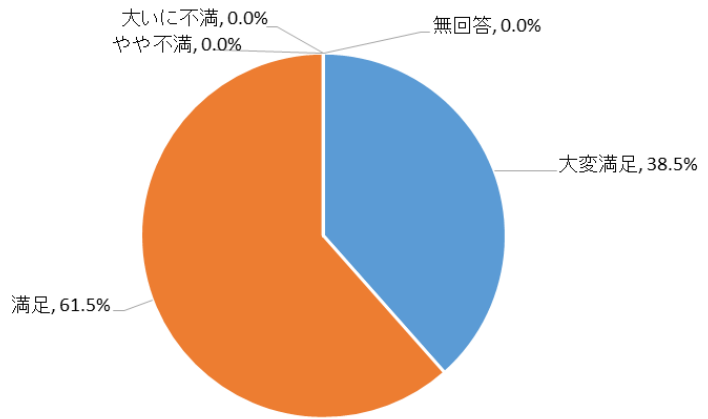
##### (2) ワークショップ①②③「未来指向型の事業設計～戦略マップの作成」



##### 【参加者の主な声】

- 苦戦したが協力し話し合うことで一つのものが作れた達成感があった。
- 他の地域のことも練りあう中で知ることができた。
- とても難しかったが、あいまいに捉えていることが明確になった。

## 5 研修講座の運営について



### 【参加者の主な声】

- 時間の流れ等明確でよかった。
- ワークショップにおいて的確なアドバイスがもられた。
- ワークショップを理解するのに時間がかかってしまった。できればスライドの資料をはじめに渡してほしかった。

## 6 その他、本講座を通して気づいた点

### 【参加者の主な声】

- 少人数なので、実りの多い研修になった。
- 自分の地域でもこのワークショップをやってみたいと思った。
- 道職員にもっと周知してもいいと思う。

